

広報 水田っ子

水田校区コミュニティ協議会 〒833-0034 福岡県筑後市下北島 150-1 水田コミュニティセンター内

TEL/FAX : 0942-27-7186

✉ : mizutakouku@kfy.biglobe.ne.jp



笑顔あふれる住みよいまちづくり

2020/4月号 Vol.96 2020/4/1発行

コミュニティバス『水田っ子号』運行開始 【運行は4月14日(火)から】

おかげさまで水田コミュニティでも福祉バスの運行が出来るようになりました。これも地域の方々から心温まるご寄付をしていただきましたからこそだと思っております。役員一同心より感謝申し上げます。

現在利用申し込み者が60名程度ありますが、何時でも申し込み可能です。随時受付致しますとともに寄付も重ねてよろしく願いいたします。今後、『水田っ子号』をより利用しやすいよう、みなさんと共に取り組んでいきます。



《防寒ユニフォームを作りました》

夜間パトロールや新春のつどいのパレードなどで使用する暖かいユニフォームを作りました。

協議会から貸し出しをしますのでご活用ください。

(色：レッド、枚数：22着、サイズ：LL寸のみ)

水田天満宮の史跡を訪ねて 宮司 宮原 恭盛

水田天満宮ご本殿正面の左(西側)には青銅・石造の鶯(ウソ)が奉納されています。この鶯はスズメ目アトリ科に分類され、大きさはスズメより一廻り大きい位で、由来は口笛を意味する古語「うそ」から来ており、ヒーヒーと口笛の様な鳴き声を発する事から名付けられました。

鶯鳥は御神牛と共に天神様のお仕え鳥として崇拜されています。石造の鶯を良く見ると嘴(くちばし)にスズメバチを銜(くわ)えています。いわゆる動乱蜂ですが、この蜂に刺されると人間でも死に至る怖い蜂です。また鶯鳥の足元にはスズメバチの巣があり、悪者を倒した威厳さ、神の使いを象徴しています。天神様と鶯のご縁は種々ですが、鶯の字の冠が学業の「學」と似ている事。古に天神様の御神幸にスズメバチの群が襲い鶯が飛んで来て蜂を食いちぎり人々を助けた。天神様にお参りする人を蜂から助けた。等々で天神様のお使い鳥と信仰され、各地の天満宮では鶯替え神事が行われています。

青銅鶯は太宰府天満宮楼門横の嘉永(江戸時代)の鶯をモデルとし、平成6年に水田上町の内藤利夫様・石川利雄様ご兩人奉納。横の石造鶯2基は風化で奉納者が不明。鶯のお話はウソの様で本当のお話です。皆様で撫でて可愛がってください。

